

2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

- | | |
|------------|---------------------------|
| 1) 決算概要 | 6) トピックス |
| 2) 決算のポイント | 7) 減価償却費と研究開発費 |
| 3) 商品群別売上高 | 8) 上期・通期業績見通し |
| 4) 国内売上高 | [参考] 商品群別売上高見通し/
為替の影響 |
| 5) 海外売上高 | |

日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2019年8月1日

Fighting Disease with Electronics



1) 決算概要

	2019/3 第1四半期	2020/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	34,583	38,551	11.5
国内売上高	25,705	28,392	10.5
海外売上高	8,878	10,159	14.4
売上総利益 (売上総利益率)	17,095 49.4%	18,524 48.1%	8.4
営業利益 (営業利益率)	53 0.2%	542 1.4%	919.0
経常利益	580	△ 26	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	538	△ 499	—

(単位:百万円、単位未満切捨て)

← 為替影響除く: +15%

← 自社品 2019/3 Q1 2020/3 Q1
売上比率: 64.9% → 62.5%

← 販管費率: 49.2% → 46.7%

← 為替差損益: 差益3.0億円 → 差損6.4億円

← 2020/3 Q1 日本光電アメリカ㈱における労務問題に関する
和解金: 447百万円

平均レート	(2018/6)	(2019/6)
1米ドル	108.5円	110.7円
1ユーロ	129.5円	123.5円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 11.5%増

- ・国内：新築移転の大口商談もあり、大学、官公立病院市場が好調に推移。診療所市場も好調。私立病院市場は前期を下回る。
- ・海外：米州、欧州が増収。特に米国が大幅に伸長。

営業利益：542百万円（前年同期は53百万円）

- ・増収効果により、人件費等の販管費の増加を吸収し、大幅増益。
- ・粗利率は、売価ダウンと売上構成の変化により、低下。

純損失：499百万円（前年同期は538百万円の純利益）

- ・為替差損益が差損に転じる。
- ・和解金や建物取壊費用等の特別損失を計上。

3) 商品群別売上高

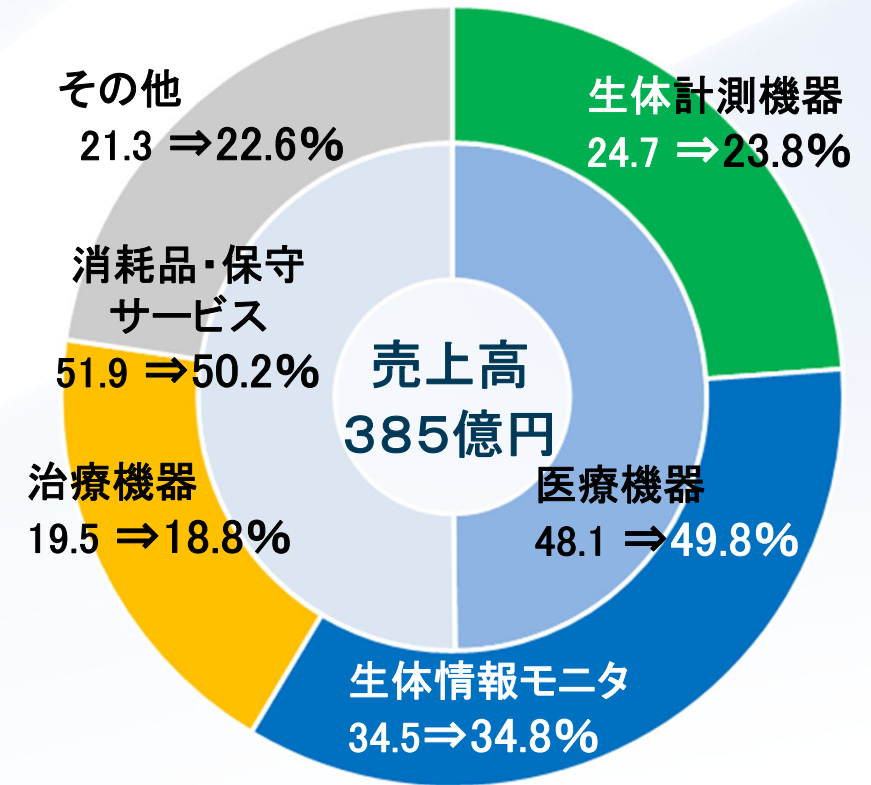
(単位: 百万円)

	2019/3 第1四半期	2020/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	8,535	9,191	7.7
生体情報モニタ	11,920	13,398	12.4
治療機器	6,741	7,233	7.3
その他	7,386	8,728	18.2
売上高合計	34,583	38,551	11.5

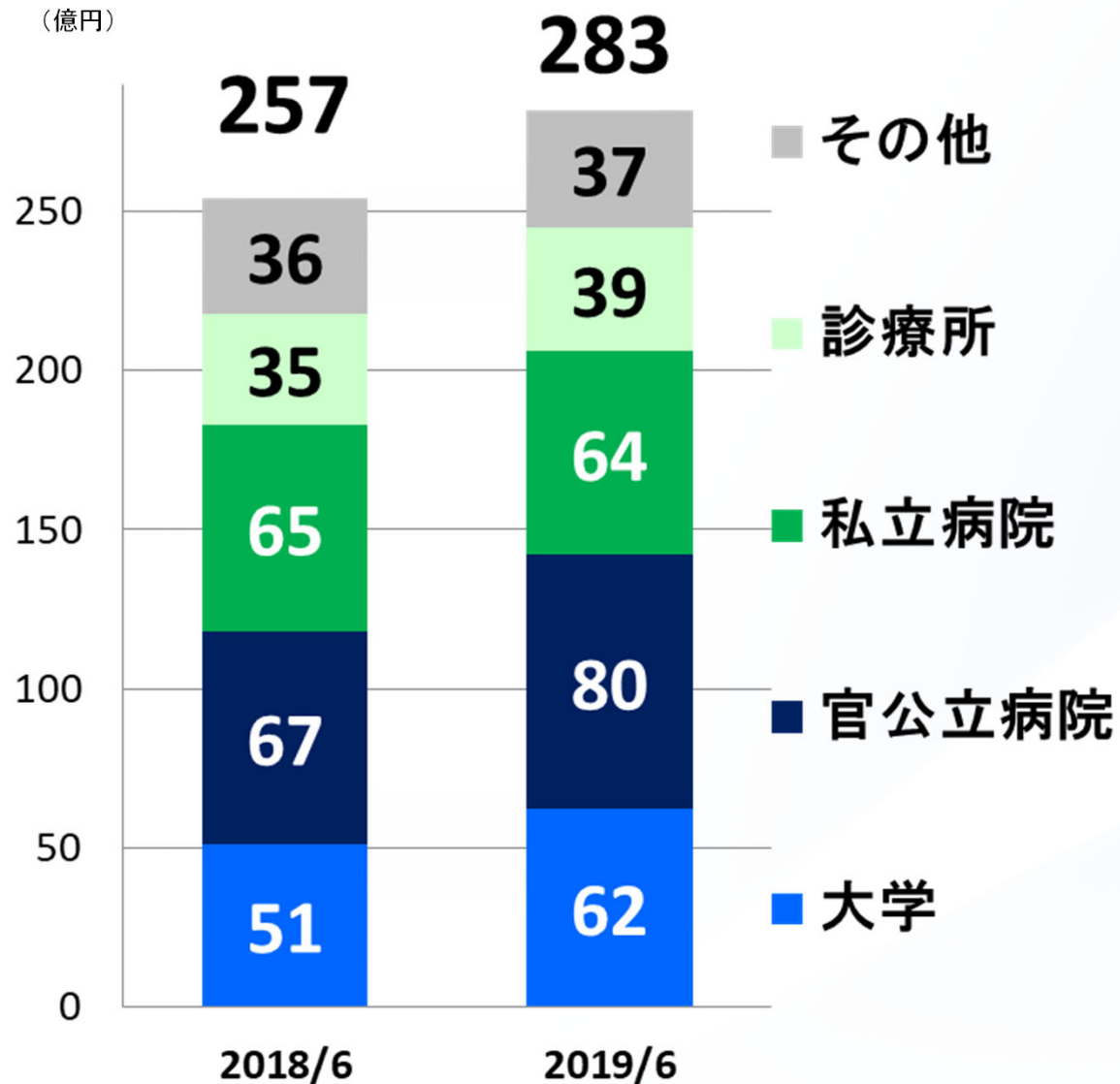
(ご参考)

消耗品・保守サービス	17,935	19,342	7.8
------------	--------	--------	-----

商品群別売上構成比
(2018/6 ⇒ 2019/6)



4) 国内売上高 - 市場別売上高



大学、官公立病院市場:

新築移転に伴う大口商談の受注もあり、二桁増。
消費税率引上げを前に年度予算が前倒しで執行され、
臨床情報システムや診断情報システムの更新商談が
増加。

私立病院市場:

中小病院での売上が振るわず、微減。中小病院向け
新製品のPR、訪問活動の強化により、回復を目指す。

診療所市場:

検体検査装置の新製品効果もあり、好調に推移。
新規開業支援ビジネスでのソリューション提案が奏功。

第2四半期以降の見通し

第2四半期で一定の駆け込み需要が見込まれるものの、
反動減も想定されることから、通期見通しは据え置き。

4) 国内売上高 - 商品群別売上高

	2019/3 第1四半期	2020/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	6,850	7,291	6.4
生体情報モニタ	7,337	8,183	11.5
治療機器	4,944	5,493	11.1
その他	6,573	7,424	12.9
売上高合計	25,705	28,392	10.5

(単位: 百万円)

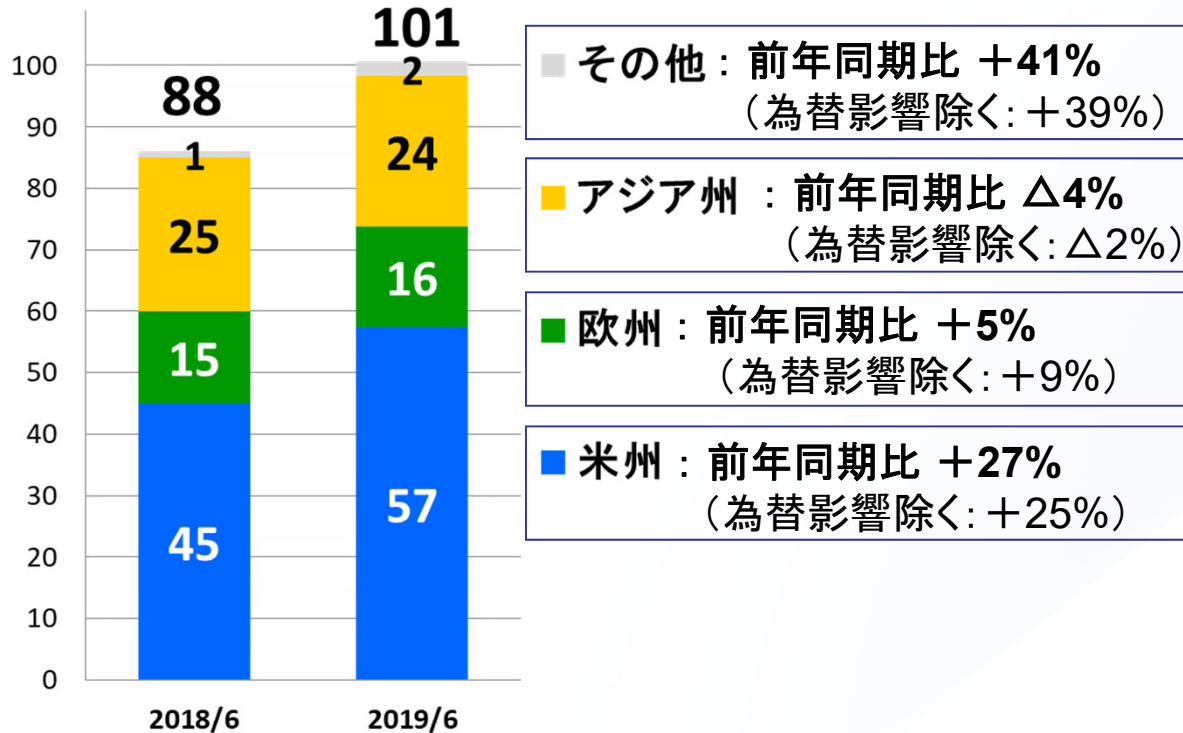
各市場のニーズに対応した新製品を投入するとともに、医療安全、診療実績、業務効率につながる提案営業力、保守サービス事業を強化し、全ての商品群で増収。

生体計測機器: 心臓カテーテル検査装置群、診断情報システムが好調。脳神経系群、心電計群は前年同期を下回る。
生体情報モニタ: ベッドサイドモニタの新製品効果に加え、臨床情報システムが好調に推移。
治療機器: 大口商談の受注もあり、除細動器、人工呼吸器の売上が大幅に伸長。
AEDは、販売台数は前年同期を上回るも、消耗品が減収。
その他: 検体検査装置の新製品が寄与。大口商談に伴い、医療機器の設置工事、現地仕入品が前年同期を上回る。

5) 海外売上高

【地域別売上高】

(億円)



【海外売上高比率】

2019/3 第1四半期	2020/3 第1四半期
25.7%	26.4%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2019/3 第1四半期	2020/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	1,685	1,899	12.8
生体情報モニタ	4,582	5,215	13.8
治療機器	1,796	1,739	△3.2
その他	813	1,304	60.3
売上高合計	8,878	10,159	14.4

為替影響除く: +15%

- 【地域別】 米州: 米国では、生体情報モニタ、脳神経系群が大幅に伸長。前期繰越のモニタ商談も寄与。中南米ではメキシコが好調に推移。
 欧州: イタリア、フランスが好調に推移したほか、トルコ、ロシアも回復。
 アジア州: 東南アジアが前年同期を下回る。中国、インド、中近東は増収。
- 【商品群別】 生体計測機器: 脳神経系群は米国、心電計群はアジア州で好調に推移。
 生体情報モニタ: 全ての州で好調に推移。特に米国、中近東での売上が大幅に伸長。
 治療機器: 除細動器がアジア州で低調。AEDは全ての地域で増収。
 その他: 血球計数器が中南米、中近東、アフリカで大幅に伸長。米国における医療機器設置サービスの繰延処理の変更も影響。

6) トピックス

2020年3月期発売の主な新製品

生体情報モニタリング事業



ベッドサイドモニタ
PVM-4000

2020/3 Q1発売(日本、欧州、新興国)



スポットチェックモニタ
SVM-7200

2020/3 Q1発売(日本、欧州、新興国)
※ 日本はコンティニュアスモードのみ



医用テレメータ
WEP-1400

2020/3 Q2発売(日本)

臨床検査機器事業



心電計
ECG-3150

2020/3 Q1発売(日本、欧州、新興国)

治療機器事業



人工呼吸器
NKV-330

2020/3 Q1発売(日本、欧州、新興国)



除細動器
EMS-1052

2020/3 Q2発売(日本)

※ 許認可申請の審査期間等によって、各国での実際の発売時期は異なります。

7) 減価償却費と研究開発費

(単位: 百万円)

	2019/3 第1四半期	2020/3 第1四半期	増減額	2019/3 実績	2020/3 計画
減 価 償 却 費	779	785	6	3,542	3,900
研 究 開 発 費	1,856	1,497	△ 358	7,243	7,600
			設備投資額	3,049	4,700

●設備投資の実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

●2020/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、ドバイ試薬工場(2億円)、東日本物流センタ(4億円)

→企画賃貸型のため、投資は移動ラックなど物流設備のみ

東日本物流センタ

建物竣工: 2019年5月末
移転: 8月以降順次、年内完了予定



富岡

鶴ヶ島

機器と
消耗品を
集約



機器と消耗品の
同梱出荷で
物流コスト削減

8) 上期・通期業績見通し

	2019/3 実績		2020/3 予想			
	上期	通期	上期	増減率 (%)	通期	増減率 (%)
売上高	790	1,787	845	6.9	1,860	4.0
国内売上高	578	1,302	—	—	1,330	2.1
海外売上高	211	485	—	—	530	9.1
売上総利益 (売上総利益率)	386 48.9%	859 48.1%	—	—	902 48.5%	4.9
営業利益 (営業利益率)	42 5.4%	150 8.4%	45 5.3%	5.6	160 8.6%	6.4
経常利益	52	158	45	△ 14.6	160	0.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	39	111	27※	△ 31.1	107※	△ 4.3
海外売上高比率	26.8%	27.2%			28.5%	

(単位: 億円)

← 為替影響除く: +12%

【地域別海外売上高】 (単位: 百万円)

	2019/3 実績	2020/3 予想	増減率 (%)
米州	23,508	25,500	8.5
欧州	8,167	8,900	9.0
アジア州	15,096	16,000	6.0
その他	1,802	2,600	44.2
海外計	48,575	53,000	9.1

※2019年6月17日に、親会社株主に帰属する当期純利益の上期・通期予想を期初予想から修正しています。

[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

	2019/3 実績	2020/3 予想	構成比(%)	増減率 (%)
生 体 計 測 機 器	40,773	41,700	22.4	2.3
生 体 情 報 モ ニ タ	61,978	66,150	35.6	6.7
治 療 機 器	33,149	34,250	18.4	3.3
そ の 他	42,898	43,900	23.6	2.3
売 上 高 合 計	178,799	186,000	100.0	4.0

(単位:百万円)

(ご参考)

消耗品・保守サービス	79,226	83,000	44.6	4.8
------------	--------	--------	------	-----

平均レート

	2019/3 実績	2020/3 予想
米 ド ル	110.8円	108円
ユ ー ロ	128.5円	125円

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米 ド ル	3.2億円	1.1億円
ユ ー ロ	0.5億円	0.2億円

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営戦略統括部

【連絡先】TEL03-5996-8003